

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・排泄物など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・排泄物など）を利用することにご了承いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】 小児 DIC における診断・治療効果判定に用いるマーカーの検索

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院小児科

【研究代表者】 越智史博（医学部附属病院中央診療施設周産母子センター 講師）

【研究の目的】

播種性血管内凝固症候群と診断され、当院に入院された患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、診断・経過観察に有用な因子を検討するとともに、治療反応と関連しているかどうかを評価する研究を行っています。この研究は、播種性血管内凝固症候群の早期治療を行う上で有用な因子の検討を目的としたものであり、今後の同疾患の診療に役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2015年4月から2021年3月までに愛媛大学医学部附属病院小児科に外来通院ならびに入院された方のうち、DICを来した敗血症、腫瘍性疾患などの児で血液検査・尿検査・髄液検査などを施行された方、DICを来していない敗血症、腫瘍性疾患などの児で血液検査・尿検査・髄液検査などを施行された方

（利用するカルテ情報）

性別・年齢・基礎疾患・発症時期・合併症・既往歴・身体所見・血液検査データ・画像検査データ・治療状況など

（利用する試料）

通常の診療で使用した後に残った試料（血液・排泄物など）

（測定する内容）

血清中もしくは排泄物中の dsDNA の定量、dsDNA 総量の定量であり、個人情報を特定するような塩基配列の同定は行いません。

【個人情報の取り扱い】

収集した資料・情報は名前・住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化

いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また研究結果は学術雑誌や学会などで発表される予定ですが、発表内容に個人が特定できる情報は一切含まれません。

【試料・情報の管理責任者】

愛媛大学医学部附属病院 小児科 手束真理

【お問い合わせ先】

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、下記までご連絡ください。他の患者さんの個人情報保護、および知的財産保護などの支障がない範囲でお答えいたします。

愛媛大学医学部附属病院 周産母子センター 越智史博

791-0295 愛媛大学東温市志津川

Tel 089-960-5320